

公明党鎌倉市議員
ふじた紀子
大石かずひさ
納所てるつく

KOMEI
 鎌倉総支部 ニュース 平成17年 8月臨時号

公明党逗子市議員
池田一音
高野のりこ
 公明党葉山町議員
鈴木みちこ

未来志向をもって構造改革を進めます！

郵政法案否決、衆議院解散！

改革力公明党か、後退野党か

八月八日の参議院本会議で郵政民営化法案が否決されたことより、小泉純一郎首相は衆議院を解散、総選挙が行われることになりました。選挙日程は「八月三十日（火）公示 九月十一日（日）投票」に決まりました。

公明党は国会内で両院議員総会を開き、神崎代表は「選挙では改革を進める政党が改革を後退させる政党かが問われる」として、連立政権で証明された『改革力・公明党』を強力に訴えていくと力説。全議員が衆院選勝利へ死力を尽くすことを誓い合いました。

衆院解散を受け、公明党は午後7時過ぎから国会内で衆参両院議員総会を開催、衆院選大勝利へ力強く出陣しました。

なぜ民営化するのか

その意義は二つあります。一つは民間の創意工夫によって、より国民にとって便利な郵便事業に改革することです。そして、もう一つの最大の狙いは、「政府保証」という信用を背景に集めた340兆円にもぼる郵便貯金、簡易保

公明党五つの主張

その上で公明党は、民営化の中心について、政府に対し多くの要望を行ってきました。具体的には、経済の活性化 構造改革全体との整合性 国民のメリット（利便性） 全国約二万四千の郵便ネットワーク資源の活用 約二十七万人の職員の雇用への配慮の五原則を踏まえて改革に取り組みよう主張してきました。

公明党の強い要望の結果、提出された法案にはユニバーサルサービスを維持するための地域・社会貢献基金の設置、第三種・第四種郵便の割引制度の維持、職員の雇用への配慮などが盛り込まれました。都市部の郵便局についても国民の利便性に配慮することで政府と合意していたのです。

野党の無責任な批判

野党・民主党は、法案に反対しながらも、郵政事業改革をどう示すのか、明確な方針をいまだに示せないまま。まったく対案も提出できず、無責任に批判を繰り返すばかりでした。何より大切なのは国民の利便性向上と経済活性化であります。公明党は、あくまで利用者・国民の視点から、郵政改革を推進してまいります。

国民負担の軽減化

一方、郵政公社は、法人税や事業税、所得税など、本来、民間企業が支払うべき税金が免除されていて、「見えない国民負担」となっています。民営化でこれを減らすこともできます。